

2021年7月18日(日)
SUPER GT 第4戦 決勝
ツインリンクもてぎ

決勝結果

リタイア

決勝概要

- ・6番グリッドからスタートを切った伊沢は安定した走りを見せポジションキープで大津に交代
- ・大津は5番手を走行していたが、後続のマシンとのバトル中に300クラスのマシンと接触してリタイア

コメント

総監督：中嶋 悟

「残念ながら久しぶりのリタイアとなってしまいました。レーシングアクシデントながら接触してしまった300クラスのマシンには申し訳ないことをしてしまいました。悔しい結果となりましたが、手ごたえがあるいいレースをすることができていたので次戦も引き続き頑張って表彰台を目指していきたいと思います。暑い中、たくさんのご声援をありがとうございました」

伊沢 拓也

「リタイアという結果は非常に残念ですが、そこまでの戦い、内容を見ると、スタートから今までにないようないいペースで手ごたえを持って走っていました。昨年ではできなかったようなレースができたという点では、僕たちが目標としているところできてきた、実を結んできた

ということなので、いいレースだったと感じています。次戦の鈴鹿は昨年予選からいい走りのできたので、今回の内容を糧に、さらにいいレースにできるよう頑張ります」

大津 弘樹

「伊沢選手にバトンをつなげてもらい、実質 5 番手で僕のステイントを戦うことになりましたが、FCY の解除後に極端にペースが上がらなくなったところで無理やり行ってしまったことで、GT300 クラスと接触、リタイアとなってしまいました。結果を残せず伊沢選手やチームの皆さんに本当に申し訳ないです。昨年に比べてペース良く走っていて、このポジションにいられる力が付いている、そういう手ごたえを感じられたレースにはなりました。鈴鹿は相性のいいサーキットだと思っているので、今回獲得できなかったポールポジションと、今回のペースをまた再現できればレースでもいい展開に持って行けると思うので、この悔しさもぶつけて、何としてでもいい結果で終われるように頑張ります」

※次戦は 8 月 21 日・22 日に鈴鹿サーキットで行なわれます。